

どこでもつながれる オンライン次世代全国ミニ交流

毎月のオンライン次世代全国ミニ交流(新婦人中央本部主催)が、次世代会員のよりどころになっています。都道府県本部大会の発言から紹介します。

「社会とつながっている」と感じられる場

佐賀支部ぐんぐん班 古賀洋嘉

一昨年に第3子が生まれ、小学2年生の双子と3人の子の母に。育休中は子どもが学校



わんぱくキッズでたこ焼きパーティー

息が詰まりそうになりながらも、子どもとの時間は貴重な時間でした。新婦人のわんぱくキッズ

ズ小組に月1回参加しています。異年齢の子どもたちが一緒に遊べて、わが子も毎月楽しみにしています。親も子育ての悩みを話せる場になっています。

職場復帰後は仕事と子どもたち中心の毎日ですが、

毎月第2金曜日の夜が私にとって楽しみな時間になっています。それは20時から21時までのオンライン次世代全国ミニ交流です。参加

活動や行動が日常にある生活から離れていると、距離や壁を感じることが多々あります。でも全国の活動や行動を見聞きすることで、直接は参加できなくても身近に感じるようになりまし

た。聞き流すだけでも大丈夫ですから「ぜひ気軽に入ってみて」とよびかけたいです。

子どもとの相手をしていたり、寝かしつけ中だったり、家事をしていたり、子どもの相手をしてい

て何より、社会とつながっている私個人を感じることができまし

最果ての町で つながりを求めて

北海道根室支部フウロ班 長浜 悠

昨年9月に、島根から根室支部に転籍してきました。仕事の関係で転々としています

計画中です。「#私が一日休んだら」のハッシュタグで、チラシやステッカーも活用しながら短時間でも少人数でも集まら

そうして女性差別撤廃条約選択議定書批准をはじめ、日本軍「慰安婦」問題、所得税法56条の廃止、新婦人独自のジェンダー平等社会の実現や、選択的夫婦別姓制度の実現を

求めるジェンダー5署名にとりくみます。班や小組にゲストも誘いながら、ジェンダーかるたや新婦人しんぶんでおしゃべり、署名をひろげながら「新婦人といっしょ」と仲間を増や

しましょう。

求めるジェンダー5署名にとりくみます。班や小組にゲストも誘いながら、ジェンダーかるたや新婦人しんぶんでおしゃべり、署名をひろげながら「新婦人といっしょ」と仲間を増や

しましょう。



好評企画のパン教室 (右が長浜さん)

ず、輪の中に入れてくれる不思議な力があると思います。私の母も会員です。父の仕事の関係で上京したものの

知り合いがおらず、毎日さみしく過ごしていた時、手話小組のチラシが郵便受けに入り、

小組に飛び込んだのがきっかけでした。

根室支部では、高齢化で役員が他界するなど、なかなか動き出しにくい日々が続いていました。それでもあきらめず、この2年間、「楽しいことをしよう」と、パン教室、新春のついで百人一首、三味線や詩吟の披露、

ボーリング大会での選挙の関心事シル投票、デマンド交通講座など、みんなの声から「みんなが笑顔になれる工夫」を重ねて活動を続けてきました。

班会の時、やりたいことを書き並べていると、会員の一人がつづやいた「フクワクするね」の一言で、この支部が好きになりました。昨年のパン教室が

好評で、リクエスト企画で実施。新婦人しんぶん創立記念号のクイズで盛り上がり、講師が入会となりました！

私たちは今、新しい一歩としてパン小組を作ろうと話しています。焼きたてのパンのように、あたたかくふくらむ仲間づくりをめ

あの日から15年

(月1回)



浪江町民 門馬昌子

東京電力福島第一原発事故 15年前の原発事故で福島県浪江町から避難し、東京都北区に住んでいる。2014年に夫が亡くなり、一人暮らしだ。

「裁かれなかった原発神話 福島第一原発訴訟の記録」(松谷彰夫)が出版)という本に、私たち夫婦の話が出てくる。2人とも高校の教師で、1971年に27歳で結婚、楢葉町の町営住宅に移り住んだ。すでに大熊町と双葉町をまたがって東京電力福島第一原発が建設され、楢葉町に第一原発が建てられようとしていた。私たちは自宅を誘致反対運動の準備会を開き、72年から「公害から楢葉町を守る町民の会」を結成。以来40年にわたり原発反対運動に関わってきた。

夫の実家のある浪江町に家を建てた頃、誘致反対運動は双葉郡全体に広がり、国を相手どり第一原発設置許可処分を取り消しを求め行政訴訟に踏み切った。

このような新婦人の魅力を発信し仲間を増やしたい。だからこそ、私たちが他人を排他的に見ていないか、未婚や既婚、子どものいる

・いない、LGBTQへの配慮など、考えを常にアップデートできているのか。自分たちで律していくことが必要です。誰かを一人にさせないために。

原告404名は多くが県内の小・中・高の教員たちだった。私たちの裁判は地裁、高裁、最高裁とすすみ、17年9月の長期に及び、いずれも原告敗訴だった。

私たちが大熊町、双葉町、浪江町の地層を調べたのは、3・11の原発事故の前年のことだ。原発近くの双葉断層が活断層かもしれないので地震の震源地になる可能性があるとわかった。地震が起きた際の防御策を東電に問いただしたが、東電は「双葉断層は北にある南相馬市までしか来ていないから大丈夫」と言っていた。耳を貸さなかった。ただ一つ、運動で断念させたのが東北電力の浪江・小高原発の建設だ。1966年から

元組織があり、私たち教員も「一坪地主」となって、ともにたたかっていた。建設は無理と見た東北電力は、宮城県女川に原発を建設。そして福島に原発事故をへて、2013年に東北電力は浪江・小高原発の建設計画の取りやめを発表した。もしこの原発が建設されていたら、2011年の事故はもっと過酷なものになっていただろう。



29歳の二人。町営住宅の庭で

事故前から原発の危険性を

1966年から浪江・小高原発の建設計画の取りやめを発表した。もしこの原発が建設されていたら、2011年の事故はもっと過酷なものになっていただろう。

浪江・小高原発の建設計画の取りやめを発表した。もしこの原発が建設されていたら、2011年の事故はもっと過酷なものになっていただろう。

主張

3月8日の国際女性デーから4月10日の女性参政権行使日まで、新婦人は女性の権利確立、ジェンダー平等をめざす「春の行動」にとりくみます。

新婦人「春の行動」

平和とジェンダー平等かかげて

これは51年前、アイスランドの女性の90%が家事も仕事も一斉に休んだ行動に学んだものです。各地でさまざまなとりくみがすすめられ、鹿児島県本部は鹿児島市内の繁華街でスタンディング、福島

県本部と支部は3・8国際女性デーに共同して、お散歩デモや映画鑑賞後のおしゃべり会を準備しています。長野・穂高支部も、おしゃべりカフェで女性の休日グッズを作成し、翌日スタンディングを

求めるジェンダー5署名にとりくみます。班や小組にゲストも誘いながら、ジェンダーかるたや新婦人しんぶんでおしゃべり、署名をひろげながら「新婦人といっしょ」と仲間を増や

しましょう。

求めるジェンダー5署名にとりくみます。班や小組にゲストも誘いながら、ジェンダーかるたや新婦人しんぶんでおしゃべり、署名をひろげながら「新婦人といっしょ」と仲間を増や

しましょう。